よい朝のために。

KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

2027年3月期 第2四半期(中間期)

(2026/4- 2026/9)

決算説明資料

2026年11月20日

株式会社共立メンテナンス

〔証券コード　9616〕

目 次

01 2027年3月期 第2四半期(中間期)決算概要 P.02

02 2027年3月期 業績予想 P.14

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

01 2027年3月期 第2四半期(中間期)決算概要

02 2027年3月期 業績予想

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

第2四半期（中間期）決算ハイライト

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

営業利益129億円（前期比+14.5%） 3期連続最高益更新

寮事業

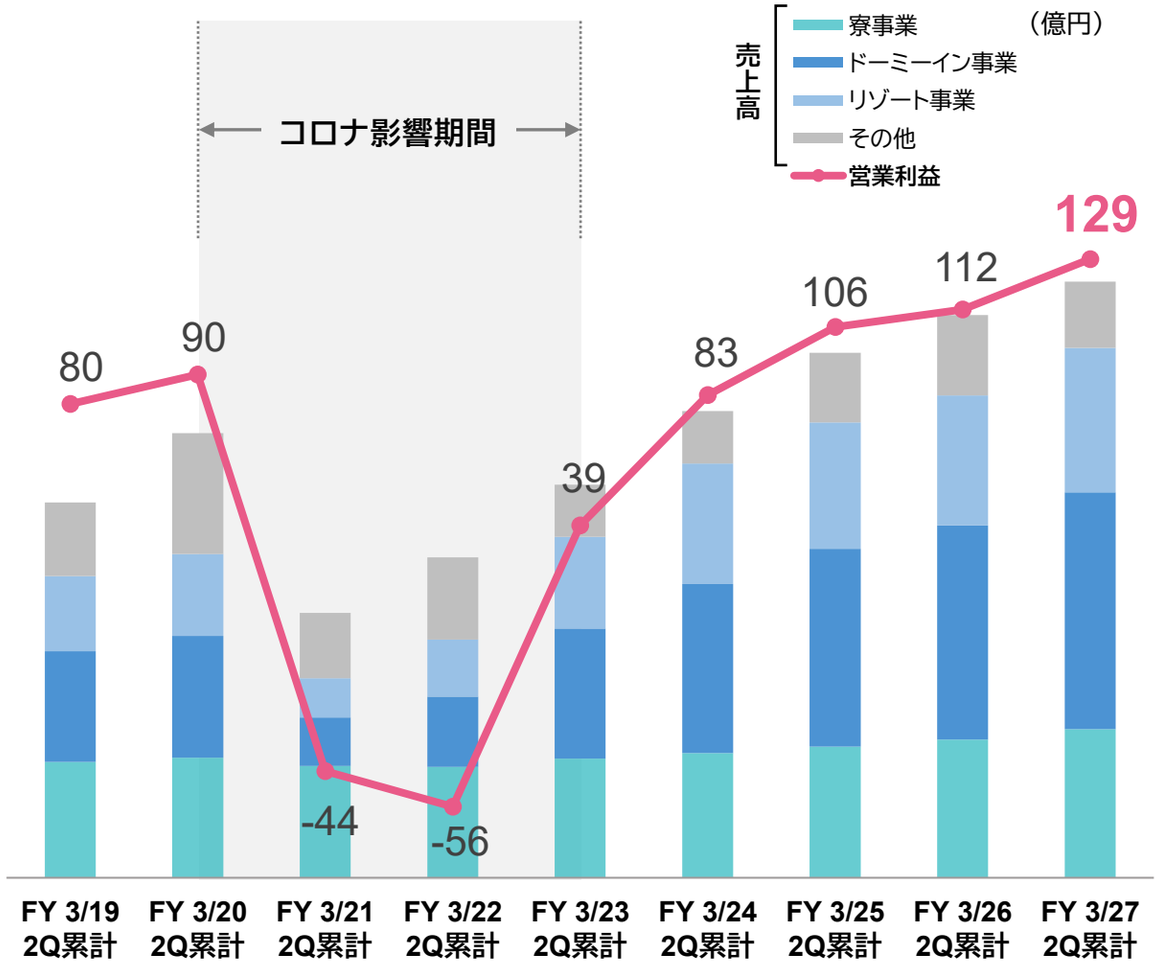
- 新規事業所14棟、2,442室の開業
- 期初稼働率98.5%（前期比1.1ポイント増）
- 上記に加え、販売価格の適正化を推進し大幅に増収増益

ホテル事業

- 自社サイト予約比率29.0%（前期比3.0ポイント増）
  └Dormy's会員242万人（前期比48.8%増）
- インバウンド比率20.4%（前期比1.5ポイント増）
- 販売価格適正化により大規模修繕コストを吸収し増収増益

その他

- 持分法による投資利益が減少
- 前期の税効果会計の影響等による法人税等の増加
- 上記特殊要因等を除く「実質成長率」は、
  経常利益前期比21.0%増、中間純利益前期比19.7%増



© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

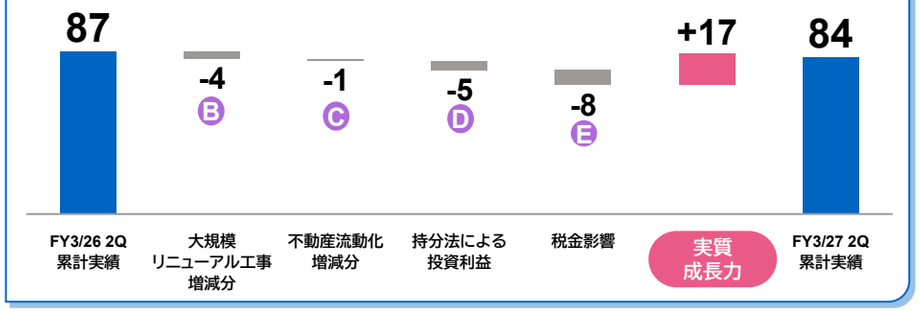
連結業績と主要経営指標

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

（億円）

	FY 3/26 2Q累計実績 (2025/4–9)	FY 3/27 2Q累計実績 (2026/4–9)	前期比 Ⓐ		特殊要因 大規模リニューアル工事増減分 Ⓑ	特殊要因 不動産流動化増減分 Ⓒ	特殊要因 持分法による投資利益 Ⓓ	特殊要因 ※3 税金影響 Ⓔ	左記要因除く前期比 Ⓐ−Ⓑ−Ⓒ−Ⓓ−Ⓔ	
売上高	1,195	1,269	+74	+6.2%	-4	-29	-	-	+108	+9.0%
営業利益	112	129	+16	+14.5%	-7	-2	-	-	+26	+23.4%
経常利益	119	129	+9	+8.0%	-7	-2	-5	-	+25	+21.0%
中間純利益	87	84	-3	-3.8%	-4	-1	-5	-8	+17	+19.7%
EPS(円)	109.9	※1 92.9	-17.1	-15.5%						
減価償却費	42	51	+8	+19.0%						
キャッシュ・フロー※2	130	135	+4	+3.7%						
設備投資額	192	247	+55	+28.7%						

中間純利益



※1 前期においては、転換社債型新株予約権付社債の転換に伴う新株発行により期中平均株式数が増加しております。前年同期の期中平均株式数で算定したEPSは105.8円（前期比−3.8%）
※2 キャッシュ・フロー：中間純利益+減価償却費
※3 税効果会計の影響および大企業向け賃上げ促進税制の廃止、防衛特別法人税の導入

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

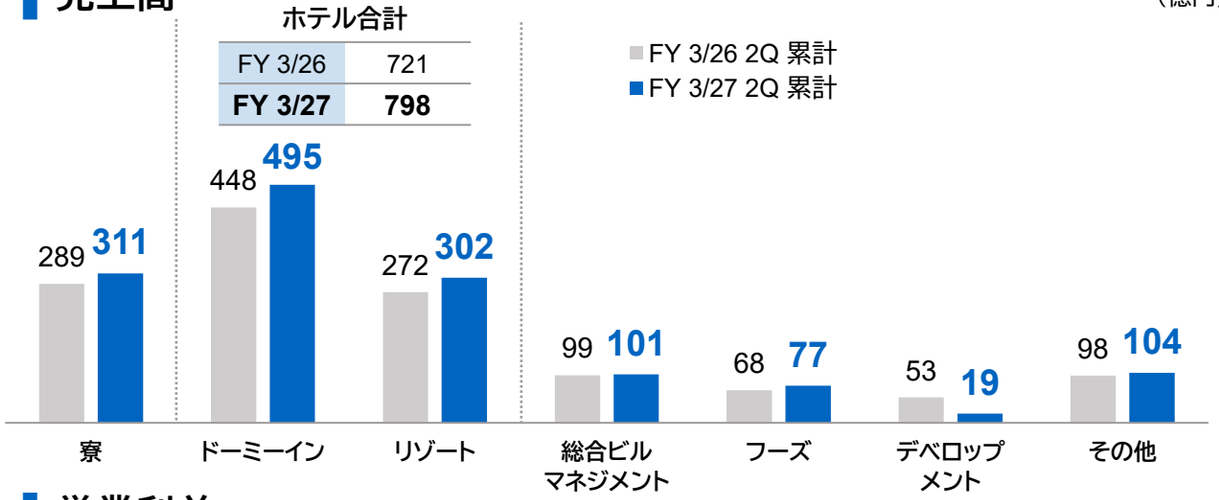
売上高および営業利益の事業セグメント別内訳

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

売上高

（億円）

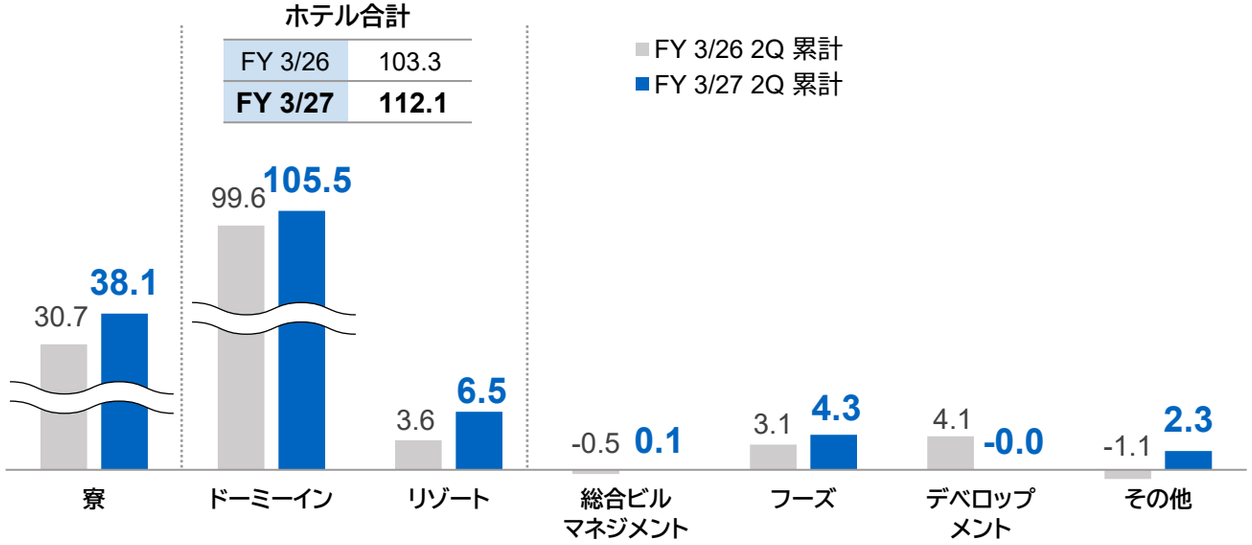
ホテル合計	
FY 3/26	721
FY 3/27	**798**



営業利益

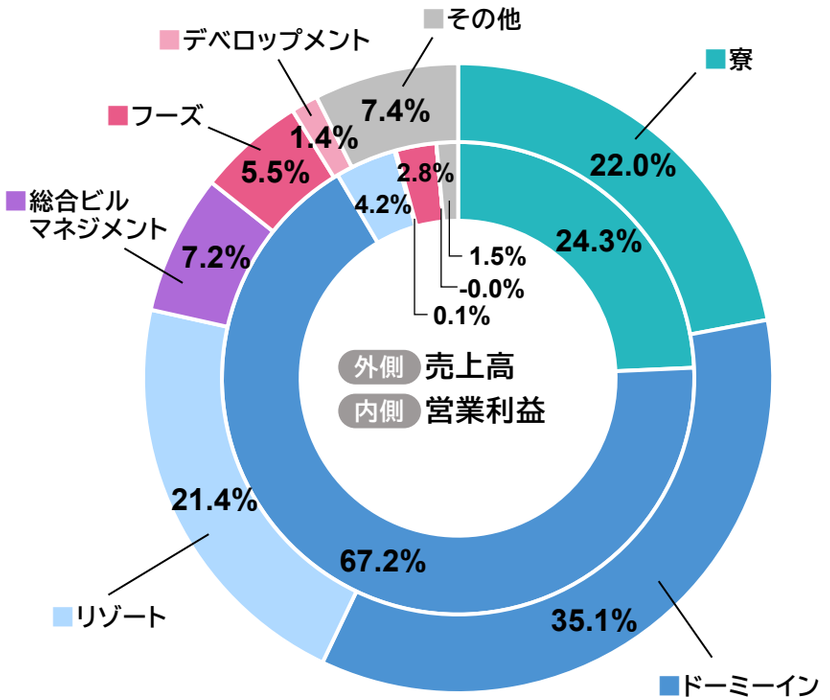
（億円）

ホテル合計	
FY 3/26	103.3
FY 3/27	**112.1**



セグメント別構成比 FY 3/27 2Q 累計

（セグメント間内部取引消去前）



© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

寮事業

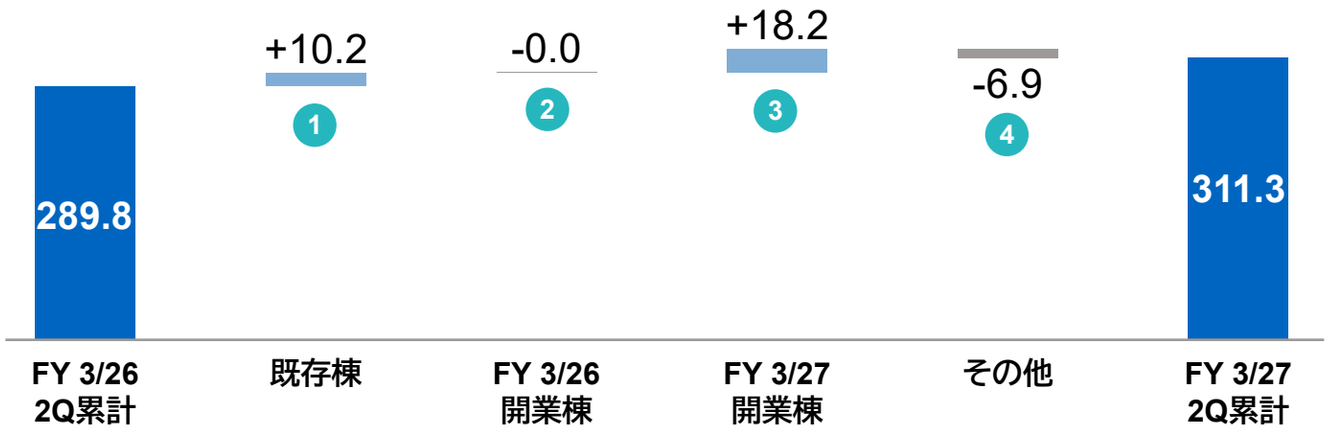
売上高および営業利益

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

売上高

前年同期から 21.5億円／7.4%の増収

（億円）



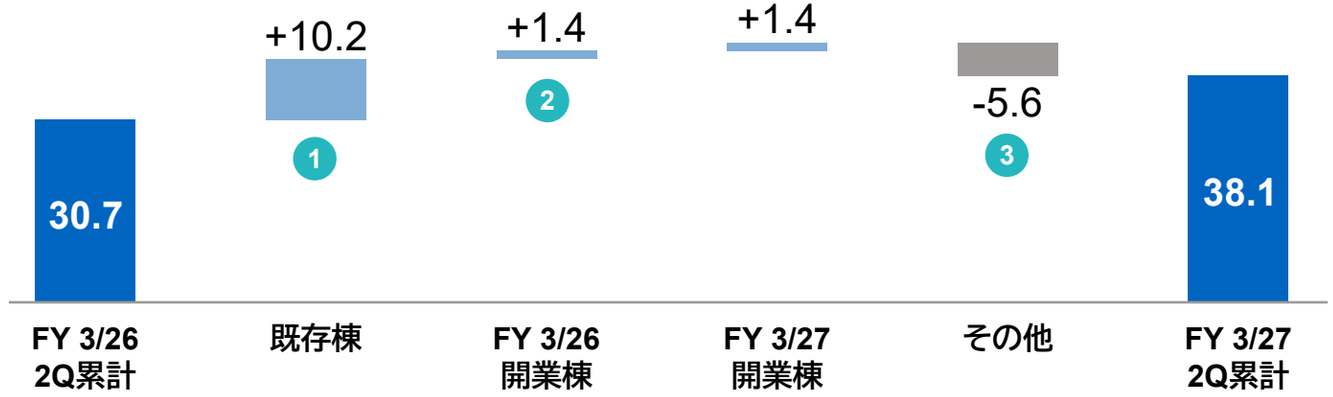
1	販売価格適正化および稼働増加	+7.2
	契約金増加	+2.3
	その他	+0.7
2	稼働増加	+1.4
	契約金減少	-1.4
3	FY 3/27開業棟　14棟（2,442室）	
4	閉鎖棟　他	-6.9

ドーミー八王子大塚	330室	ドミール創成イースト	74室
ドーミー東海大Hills	493室	Ritsumeikan Uji Dormitory	156室
ドーミー市谷加賀	355室	ドーミー山科東野	192室
ドーミー牛込神楽坂	93室	ドーミー高松西宝町	139室
吉祥寺国際学生会館	54室	ドーミー長崎新大工町	106室
国分寺コミュニティハウス	156室	ドーミー長崎平和公園	74室
ドーミー衣笠等持院	179室	アーバンテラス日吉高田	41室

営業利益

前年同期から 7.4億円／24.3%の増益

（億円）

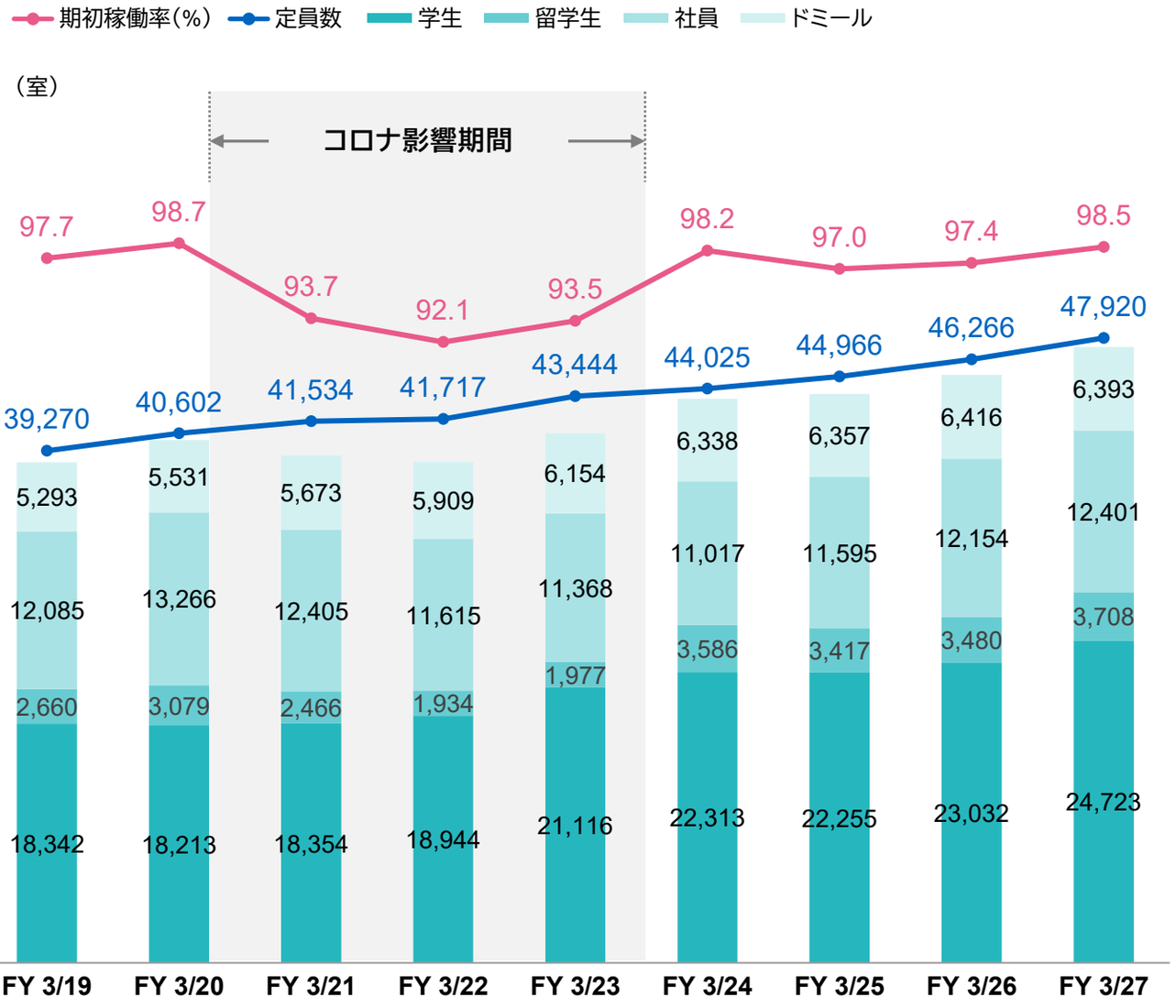


1	販売価格適正化および稼働増加	+6.7
	契約金増加	+2.3
	水道光熱費・食材費の減少　他	+1.2
2	稼働増加	+1.1
	契約金減少	-1.4
	開業費減少	+1.4
	その他	+0.3
3	閉鎖棟　他	-1.5
	本部費用　他	-4.1

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

寮事業

期初稼働率および契約別室数推移



	FY 3/26	FY 3/27	前期比
期初稼働率	97.4%	98.5%	+1.1pt
物件数(棟)	536	542	+6
定員数(室)	46,266	47,920	+1,654
稼働数(室)	45,082	47,225	+2,143

稼働数の内訳(室)

	FY 3/26	FY 3/27	前期比
ドミール	6,416	6,393	-23
社員	12,154	12,401	+247
留学生	3,480	3,708	+228
学 生	23,032	24,723	+1,691

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

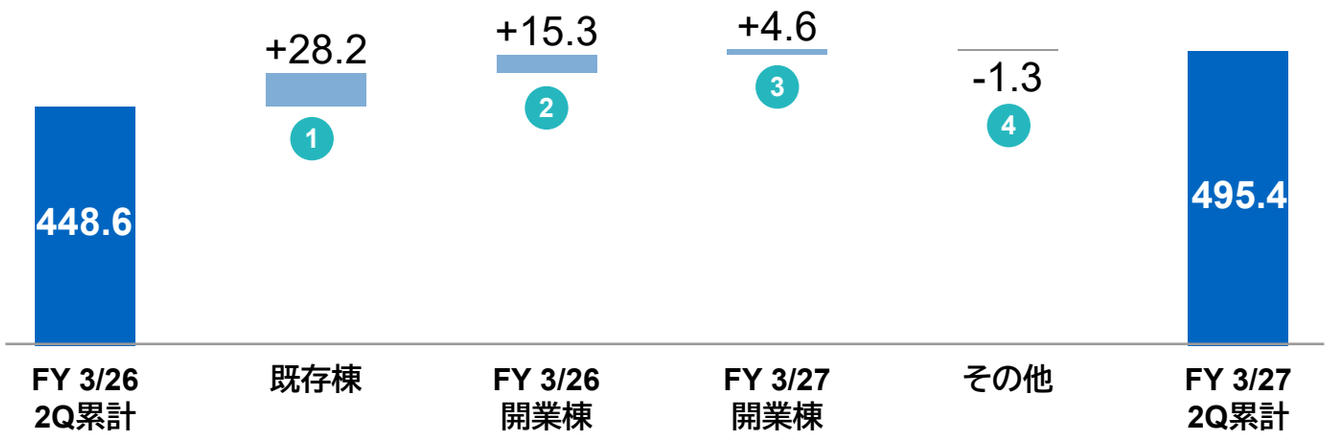
売上高および営業利益

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

売上高

前年同期から 46.7億円／10.4%の増収

（億円）



営業利益

前年同期から 5.9億円／6.0%の増益

（億円）



2Q累計

自社予約比率	29.1%（前期対比+1.7pt）
インバウンド比率	24.2%（前期対比+1.5pt）

1 RevPAR上昇に伴う増収 +28.2

15,488円 前期対比 **+1,054円(+7.3%)**

OCC ：89.8% 前期対比 **+2.0pt**

ADR ：17,250円 前期対比 **+807円(+4.9%)**

2 FY3/26開業棟 4棟(636室)

10月	ドーミーイン敦賀	199室
10月	ドーミーインEXPRESS雲南	94室
11月	御宿 野乃熊本	191室
3月	御宿 野乃福井	152室

3 FY3/27開業棟 3棟(566室)

6月	ドーミーイン四日市	197室
9月	ドーミーイン千歳	198室
9月	ドーミーイン小松	171室

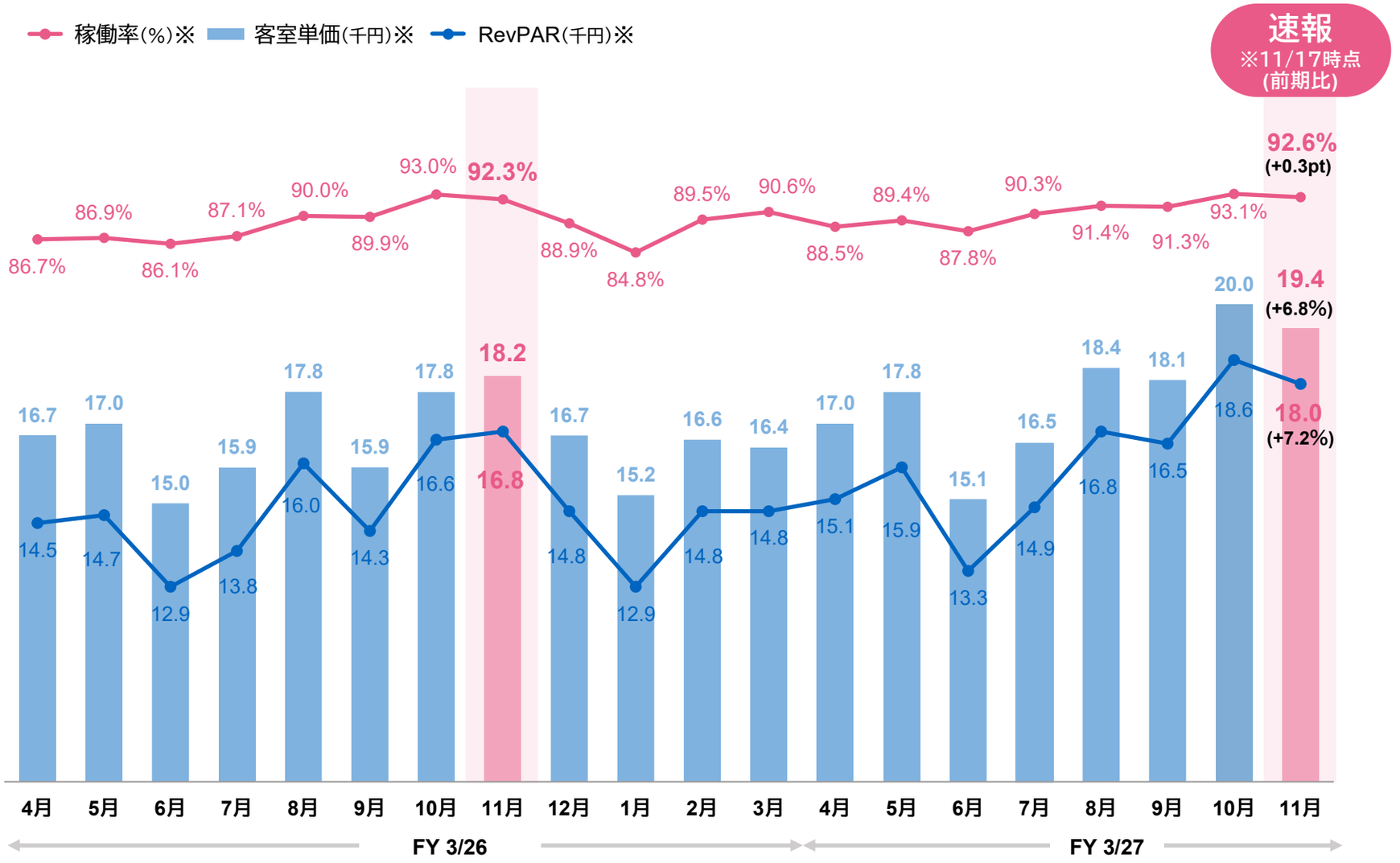
4 韓国 +4.5
大規模リニューアル影響 -6.8
他 +1.0

1 RevPAR上昇に伴う増益 +21.4
集客手数料減少（自社予約比率上昇） **+1.4**
コストインフレーション（賃借料・食材費・人件費等） **-5.6**

2 韓国 +1.0
大規模リニューアル影響 -7.5
開業準備費用増加 -1.3
本部費用増加等（人件費・販促費等） **-3.3**

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

稼働率、客室単価およびRevPARの月別推移



※ 同一条件下で比較するために 2025年4月以降に開業したホテルを除外

稼働率（%）

	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	通期
FY 3/26	86.5	89.0	87.8	91.5	88.3	88.8
FY 3/27	88.6	91.0	89.8	-	-	-
前期比	+2.0pt	+2.0pt	+2.0pt	-	-	-

客室単価（千円）

	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	通期
FY 3/26	16.2	16.5	16.4	17.6	16.1	16.6
FY 3/27	16.7	17.7	17.2	-	-	-
前期比	+0.4	+1.1	+0.8	-	-	-

RevPAR（千円）

	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	通期
FY 3/26	14.0	14.7	14.4	16.1	14.2	14.8
FY 3/27	14.8	16.1	15.4	-	-	-
前期比	+0.7	+1.3	+1.0	-	-	-

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

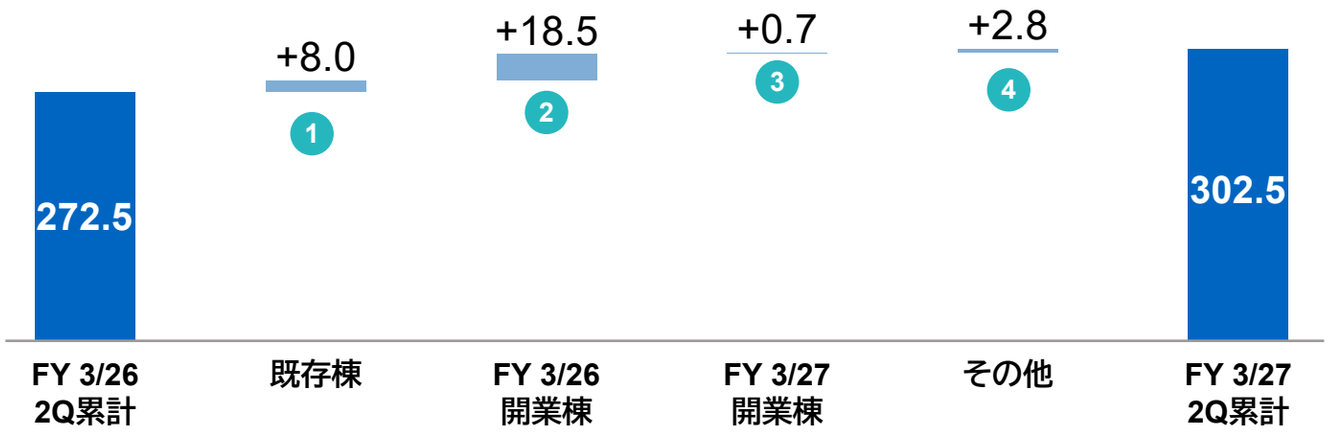
売上高および営業利益

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

売上高

前年同期から 30.0億円／11.0%の増収

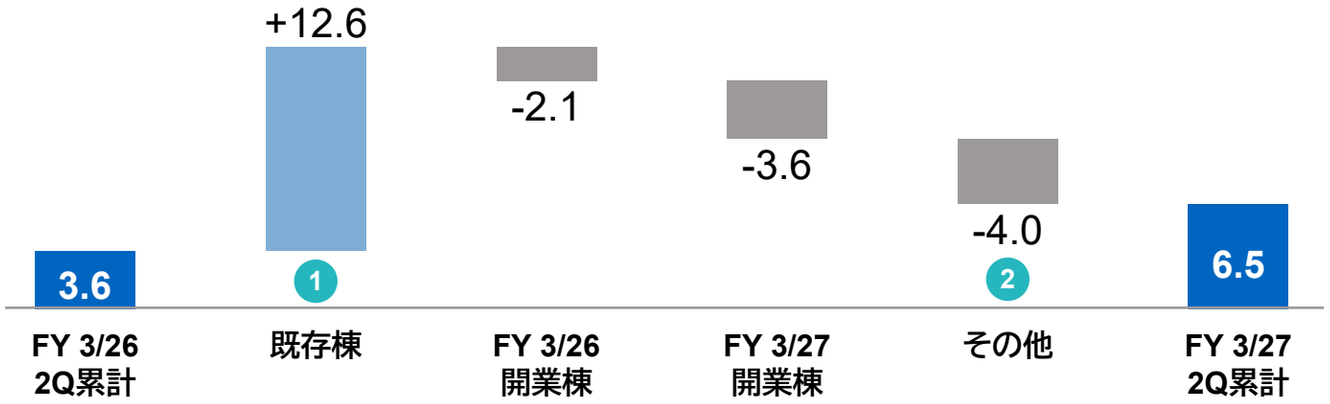
（億円）



営業利益

前年同期から 2.8億円／78.4%の増益

（億円）



2Q累計

自社予約比率	28.8%（前期対比+5.1pt）
インバウンド比率	14.3%（前期対比+1.7pt）

1 RevPAR上昇に伴う増収 +8.0

38,985円 前期対比 **+1,309円(+3.5%)**

OCC ：77.8% 前期対比 **-2.3pt**

ADR ：50,116円 前期対比 **+3,060円(+6.5%)**

2 FY3/26開業棟 1棟(239室)

3月 ラビスタ熱海テラス 239室

3 FY3/27開業棟 1棟(67室)

7月 京都 御室 花伝抄 67室

4 大規模リニューアル影響 +2.4

他 +0.4

1 RevPAR上昇に伴う増益 +10.7

集客手数料減少（自社予約比率上昇） +4.5

コストインフレーション（人件費・賃借料・清掃費等） -2.6

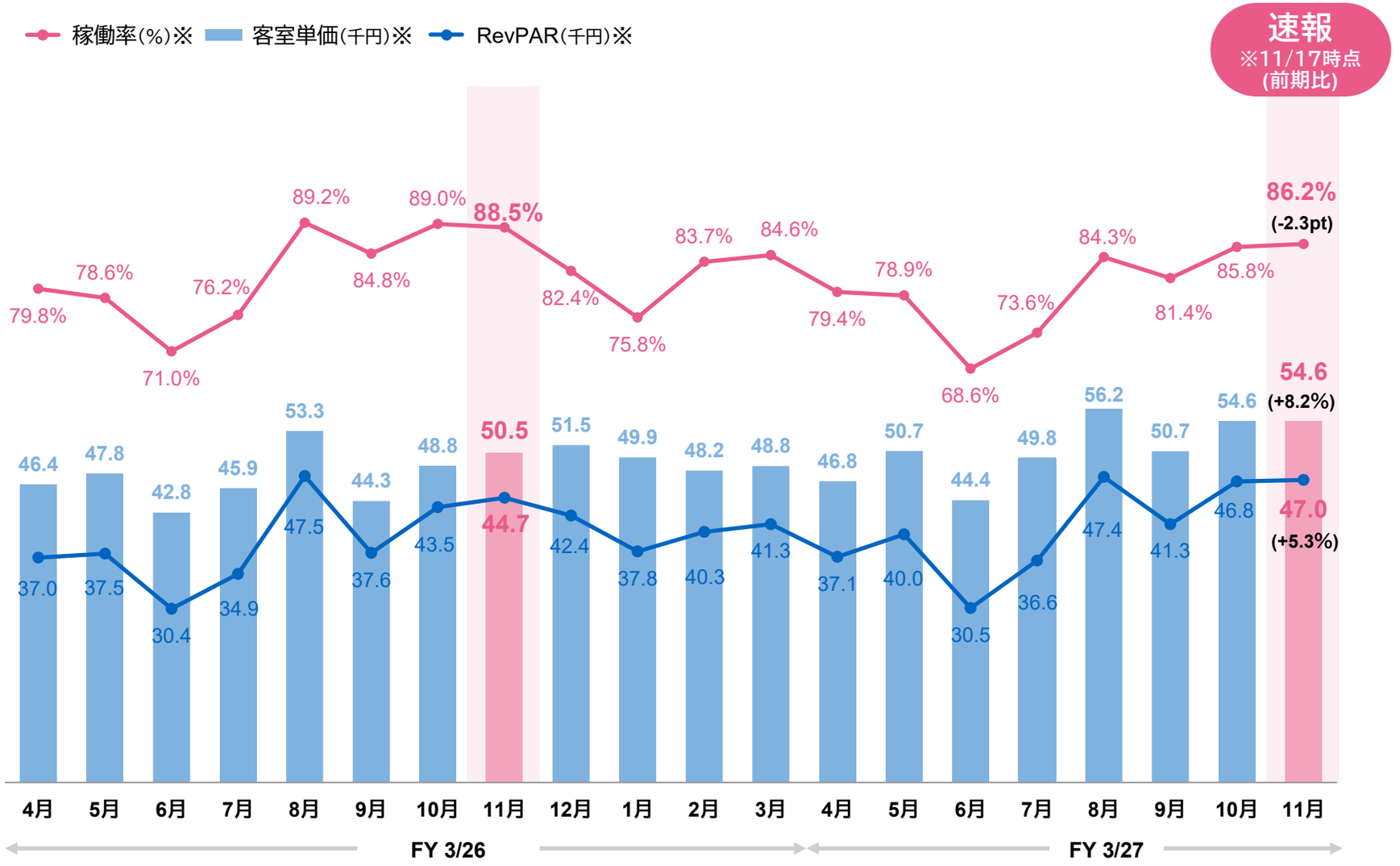
2 大規模リニューアル影響 -0.2

開業準備費用 -0.7

本部費用 他（販促費・人件費等） -3.1

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

稼働率、客室単価およびRevPARの月別推移



※ 同一条件下で比較するために 2025年4月以降に開業したホテルを除外

稼働率（%）

	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	通期
FY 3/26	76.6	83.4	80.1	86.6	81.3	82.1
FY 3/27	75.7	79.8	77.8	-	-	-
前期比	-0.9pt	-3.6pt	-2.3pt	-	-	-

客室単価（千円）

	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	通期
FY 3/26	45.9	48.0	47.0	50.2	49.0	48.3
FY 3/27	47.5	52.4	50.1	-	-	-
前期比	+1.6	+4.3	+3.0	-	-	-

RevPAR（千円）

	1Q	2Q	2Q累計	3Q	4Q	通期
FY 3/26	35.1	40.1	37.6	43.5	39.8	39.7
FY 3/27	36.0	41.8	38.9	-	-	-
前期比	+0.8	+1.7	+1.3	-	-	-

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

財務指標

連結貸借対照表

2026年3月末

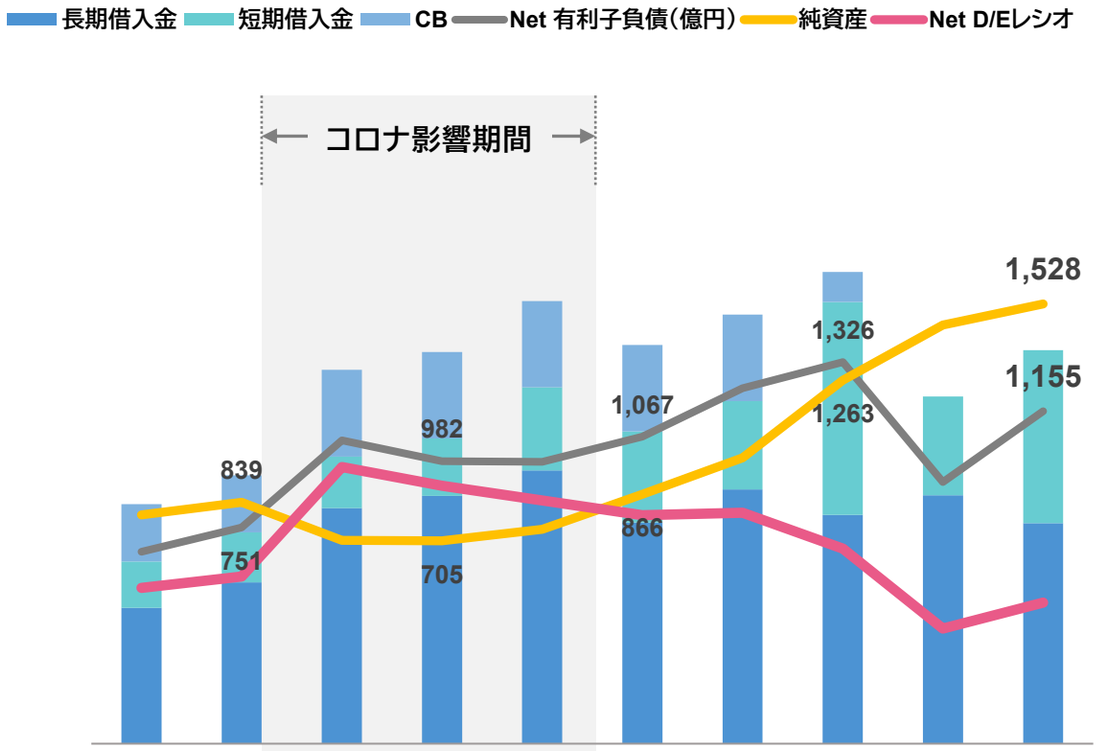
資産		負債	
3,166億円		1,711億円	
流動資産 750億円		流動負債 789億円	
	現預金 299億円		有利子負債 1,207億円
	販売用不動産等 150億円		固定負債 921億円
固定資産 2,414億円		純資産 1,455億円	
			自己株式 -2億円

2026年9月末

資産		負債	
3,294億円 (+127億円)		1,766億円 (+55億円)	
流動資産 774億円 (+24億円)		流動負債 939億円 (+150億円)	
	現預金 212億円 (-87億円)		有利子負債 1,368億円 (+160億円)
	販売用不動産等 263億円 (+113億円)		固定負債 826億円 (-95億円)
固定資産 2,518億円 (+103億円)		純資産 1,528億円 (+72億円)	
			自己株式 -2億円

(注)有利子負債＝短期借入金+1年内償還予定の社債+社債+長期借入金+リース債務+CB(転換社債)

主要財務KPI推移

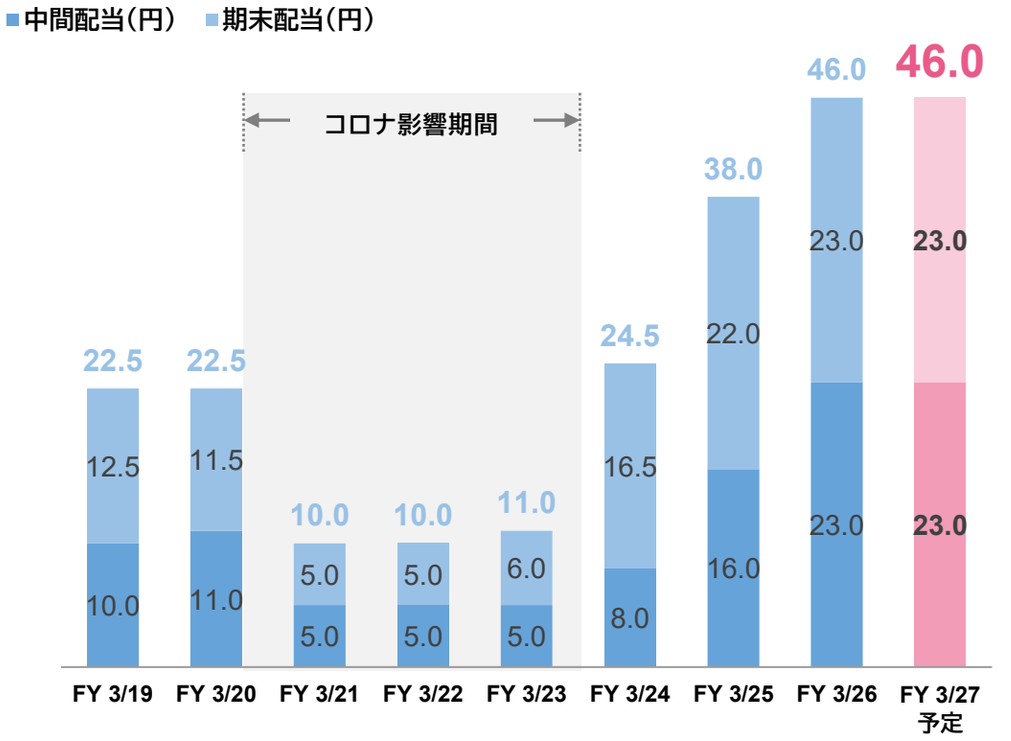


	FY 3/19	FY 3/20	FY 3/21	FY 3/22	FY 3/23	FY 3/24	FY 3/25	FY 3/26 9月末	FY 3/26	FY 3/27 9月末
Net D/E レシオ(倍)	0.84	0.90	1.49	1.39	1.31	1.23	1.24	1.05	0.62	0.76
自己資本比率(%)	39.3	38.7	29.6	29.2	27.4	32.0	33.0	39.8	46.0	46.4

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

株主還元

配当金



	FY 3/19	FY 3/20	FY 3/21	FY 3/22	FY 3/23	FY 3/24	FY 3/25	FY 3/26	FY 3/27 予定
EPS (円)	122.7	88.8	-156.0	6.9	54.4	159.1	186.6	221.8	**198.0**
配当性向 (%)	18.3	25.3	-	144.6	20.2	15.4※	20.4	20.7	**23.2**

※ 2024年3月期における特殊要因である、持分法による投資利益50.2億円および減損損失20.1億円の影響を除いた場合の配当性向は20.3%

株主優待



- 「株主様ご優待割引チケット」（7月・12月）
- 「長期保有株主様ご優待割引チケット」（7月）
- 「共立リゾートご優待価格プランご利用チケット」（7月・12月）

12月よりリニューアル予定

ご所有株式数	株主様ご優待割引チケット	※1 長期保有株主様ご優待割引チケット	※2 共立リゾートご優待価格プランご利用チケット
100株以上 ～ 200株未満	2,000円分	2,000円分	**1枚**
200株以上 ～ 500株未満	4,000円分	4,000円分	**2枚**
500株以上 ～ 1,000株未満	8,000円分	6,000円分	
1,000株以上 ～ 2,000株未満	16,000円分	10,000円分	**3枚**
2,000株以上 ～ 5,000株未満	30,000円分	20,000円分	**10枚**
5,000株以上 ～ 10,000株未満	50,000円分	40,000円分	
10,000株以上	120,000円分	60,000円分	

※1 「長期保有株主様ご優待割引チケット」は3月31日時点で当社の株式を3年以上継続保有されている株主様が対象
※2 「共立リゾートご優待価格プランご利用チケット」の割引率(目安)は下記の通りとなります、詳細は当社コーポレートサイトにてご確認ください
平日(および一部特定期間)：通常料金の約30%割引
休前日・特日等：通常料金の約10%割引

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

01 2027年3月期 第2四半期(中間期)決算概要

02 2027年3月期 業績予想

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

連結業績予想ハイライト

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

着実な持続成長、営業利益260億円、不動産流動化を除く実質成長率12.7%

寮事業

・16棟2,585室の開業計画、期初稼働率は前期から1.1ポイント高い98.5%と高稼働率でスタート

・新規事業所の増加効果に加え、販売価格の適正化について継続的に取り込み、大幅な増収増益を計画

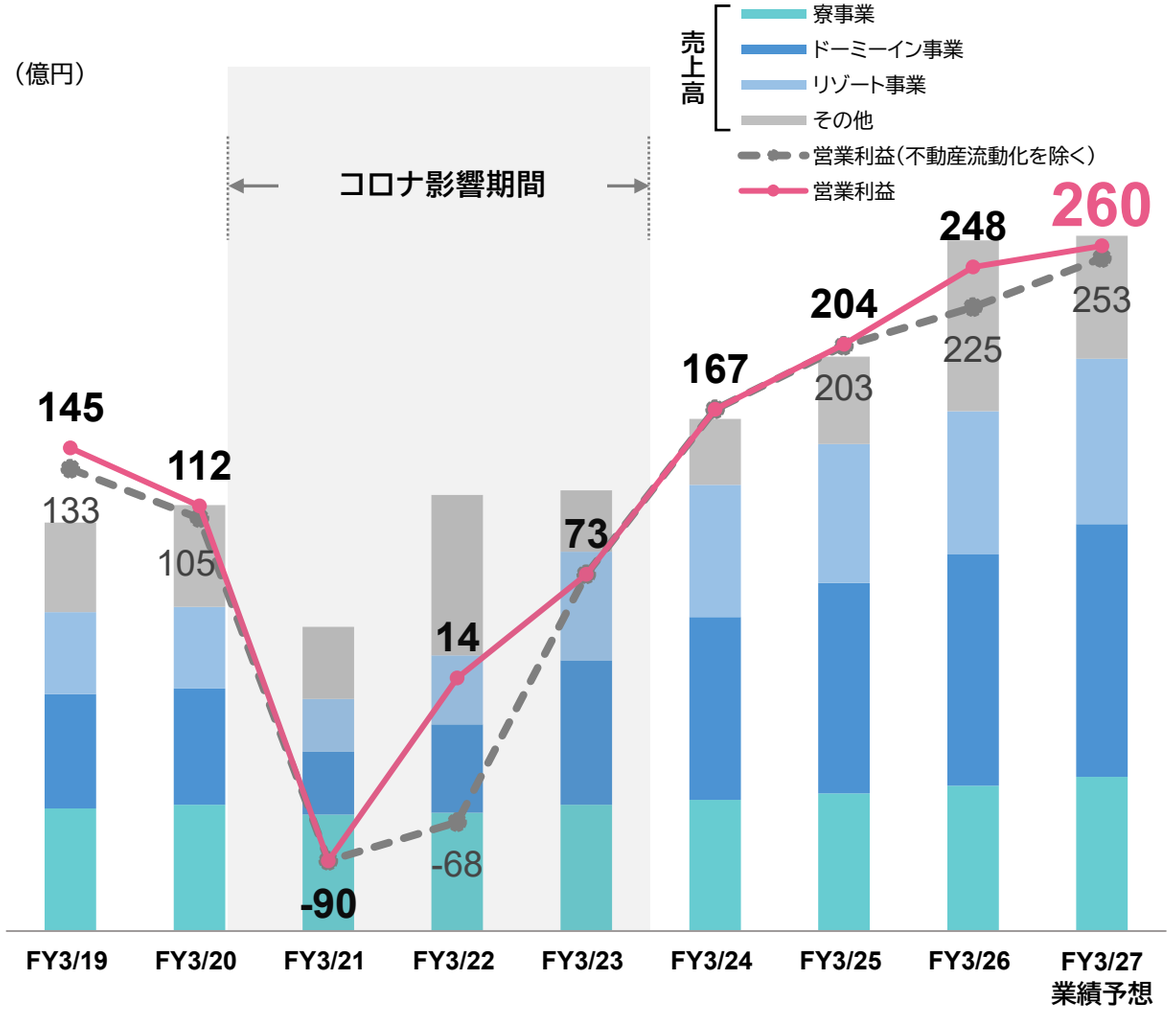
ホテル事業

・新築とリブランドを併用し、8棟1,196室の新規開業を計画

・旺盛な宿泊需要を的確に捉え、ダイナミックプライシングによるレベニューマネジメントを徹底継続、開業費や運営コストなどの増加を吸収し、二桁成長を織り込む

その他

・当期純利益は特殊要因により微減を見込むも、配当金は前期同額の年 46円(配当性向23.2%、前期比+2.5pt)を計画



© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

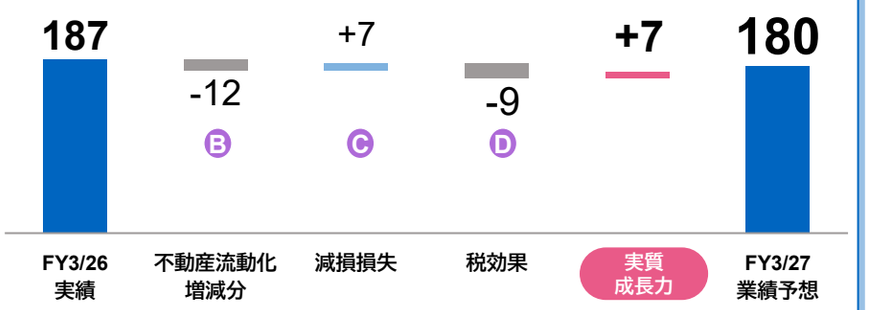
連結業績予想と主要経営指標

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

（億円）

	FY 3/26 実績 (2025/4–2026/3)	FY 3/27 業績予想 (2026/4–2027/3)	前期比 Ⓐ		特殊要因 不動産流動化増減分 Ⓑ	特殊要因 減損損失 Ⓒ	特殊要因 税効果 Ⓓ	左記要因除く前期比 Ⓐ−Ⓑ−Ⓒ−Ⓓ	
売上高	2,752	2,770	+17	+0.6%	-219	—	—	+237	+9.9%
営業利益	248	260	+11	+4.6%	-16	—	—	+28	+12.7%
経常利益	262	260	-2	-0.8%	-16	—	—	+14	+6.2%
当期純利益	187	180	-7	-3.8%	-12	+7	-9	+7	+4.2%
EPS(円)	221.8	※1 198.0	-23.9	-10.8%					
配当金 (円)	46.0	46.0	—	—					
減価償却費	90	115	+24	+27.3%					
キャッシュ・フロー※2	277	295	+17	+6.3%					
設備投資額	421	540	+118	+28.0%					

当期純利益



※1前期に発生した転換社債型新株予約権付社債の転換行使の影響を考慮し、比較可能性を担保するため、前期の期中平均株式数(84,340,121株)に基づき算定したEPSは213.4円(前期比-3.8%)
※2 キャッシュ・フロー：当期純利益+減価償却費

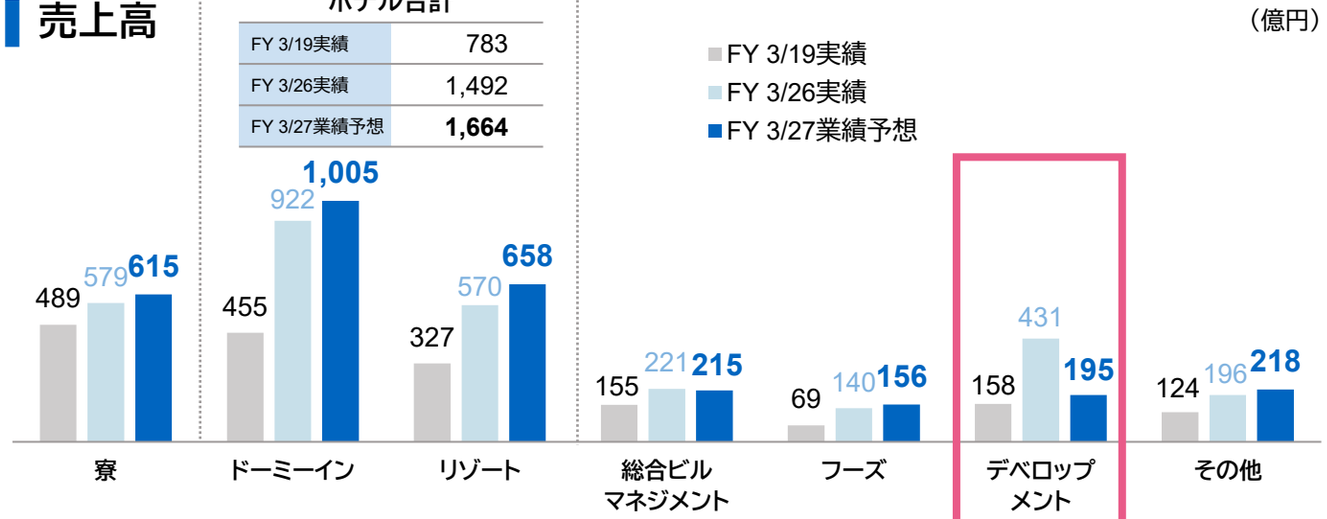
© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

連結業績予想 事業セグメント別内訳

売上高

ホテル合計

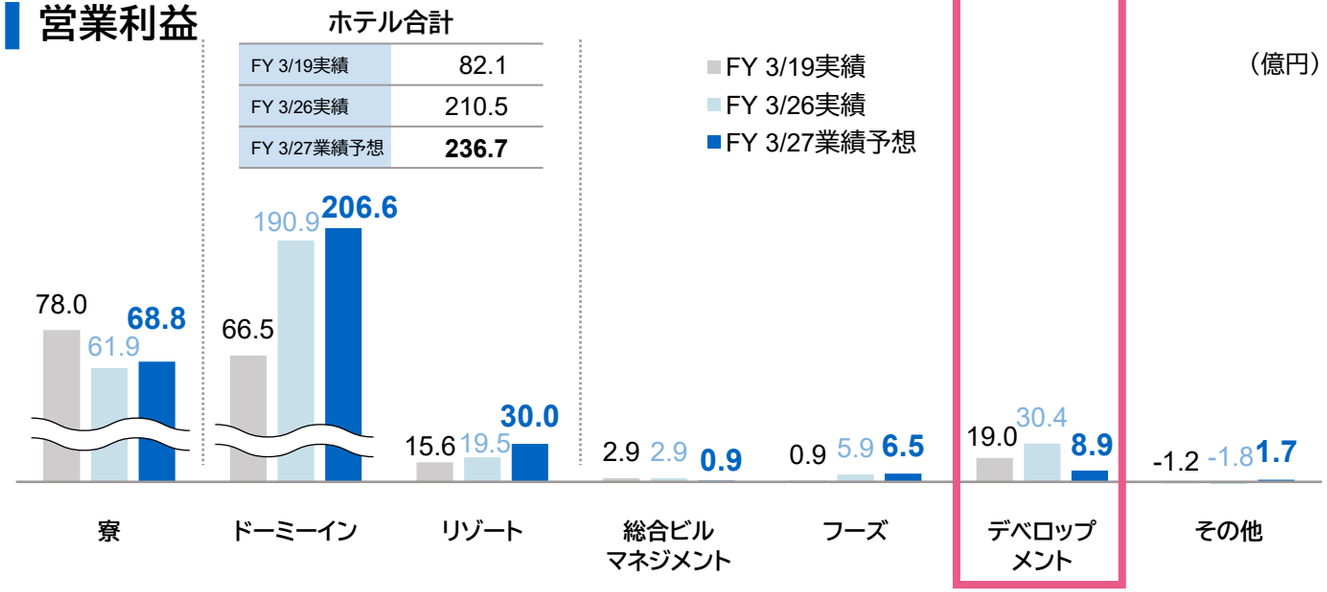
FY 3/19実績	783
FY 3/26実績	1,492
FY 3/27業績予想	**1,664**



営業利益

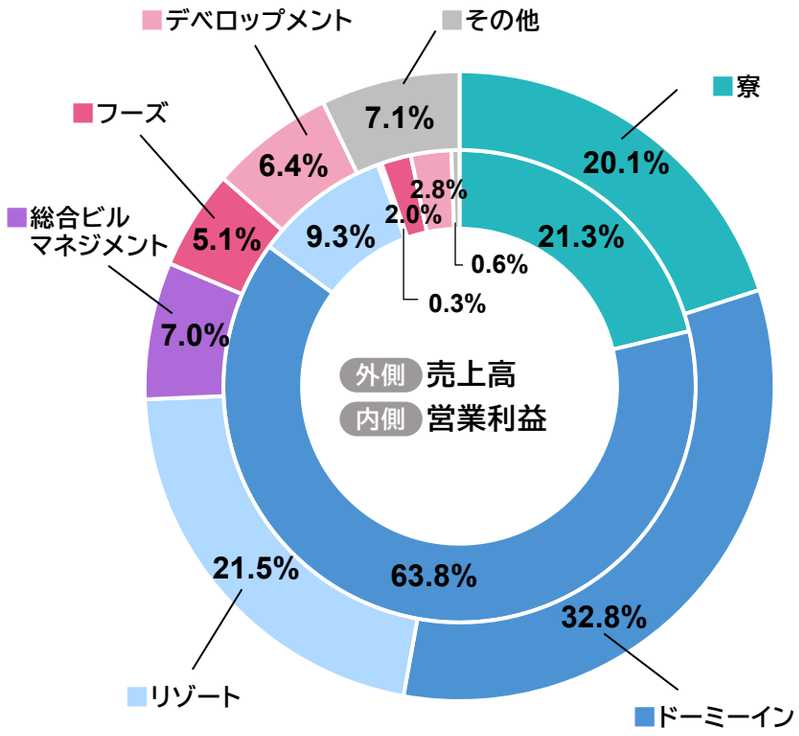
ホテル合計

FY 3/19実績	82.1
FY 3/26実績	210.5
FY 3/27業績予想	**236.7**



セグメント別構成比 FY 3/27 業績予想

（セグメント間内部取引消去前）



© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

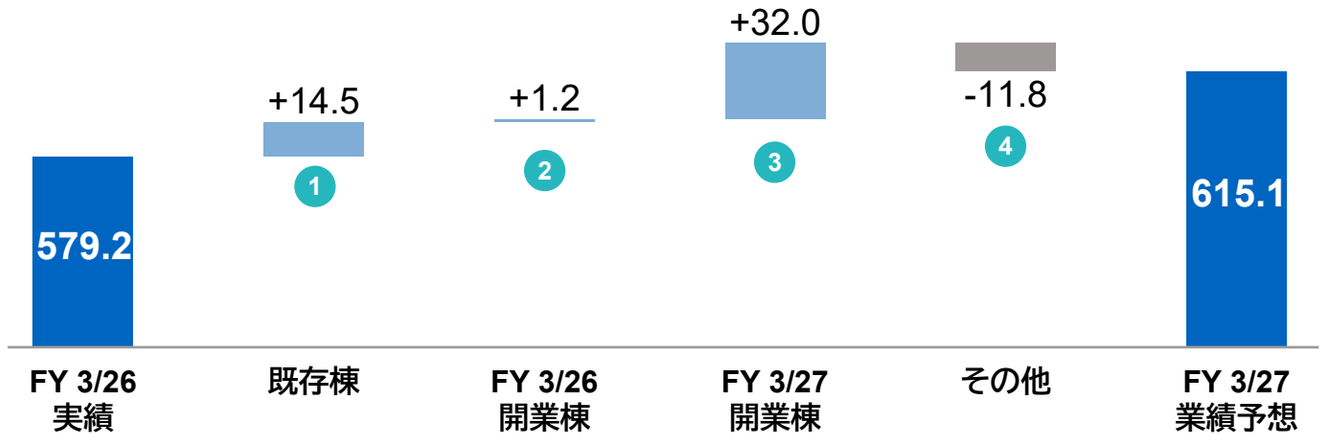
連結業績予想 売上高および営業利益

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

売上高

前期から 35.9億円／6.2%の増収

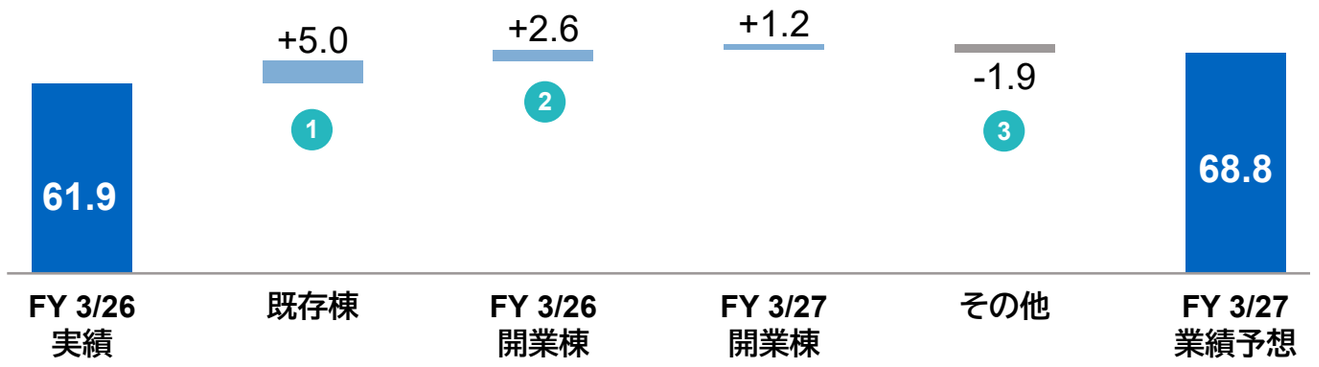
（億円）



営業利益

前期から 6.8億円／11.1%の増益

（億円）



1	販売価格適正化および稼働増加	+11.4
	契約金増加	+3.1
2	販売価格適正化および稼働増加	+2.8
	契約金減少	-1.6
3	FY 3/27開業棟 16棟（2,585室）	
4	受託事業	-5.0
	閉鎖棟 他	-6.8

ドーミー八王子大塚	330室	ドミール創成イースト	74室
ドーミー東海大Hills	493室	Ritsumeikan Uji Dormitory	156室
ドーミー市谷加賀	355室	ドーミー山科東野	192室
ドーミー牛込神楽坂	93室	ドーミー高松西宝町	139室
吉祥寺国際学生会館	54室	ドーミー長崎新大工町	106室
国分寺コミュニティハウス	156室	ドーミー長崎平和公園	74室
ドーミー衣笠等持院	179室	アーバンテラス日吉高田	41室
ドミールCity両国	24室	ドーミー天満橋	119室

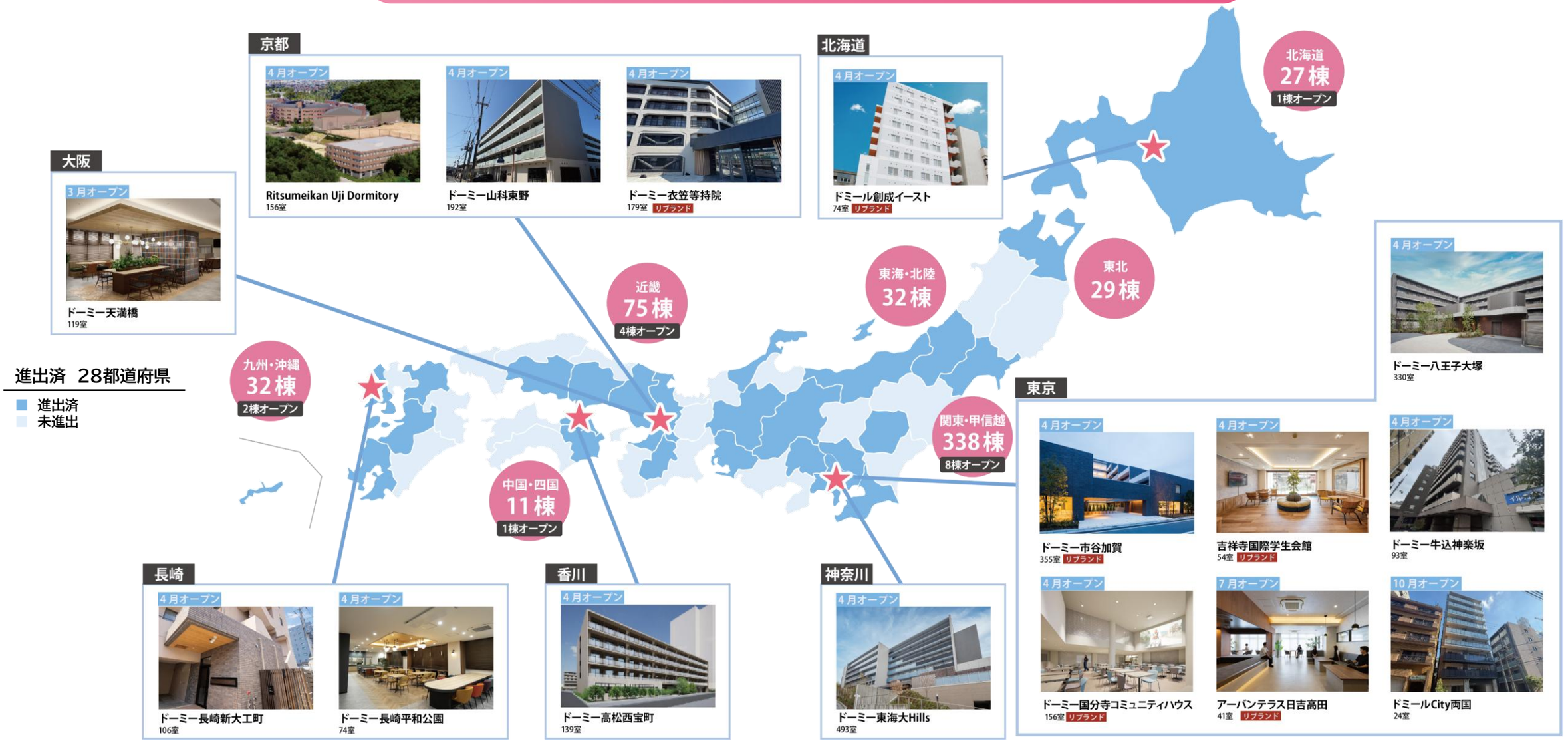
1	販売価格適正化および稼働増加	+11.0
	契約金増加	+3.1
	コストインフレーション 他 （食材費・リフォーム代・水道光熱費等）	-9.1
2	販売価格適正化および稼働増加	+2.2
	契約金減少	-1.6
	開業費減少 他	+2.0
3	本部費用 他	-1.9

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

寮事業

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

初進出の長崎県2棟を含む16棟2,585室を開業



© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

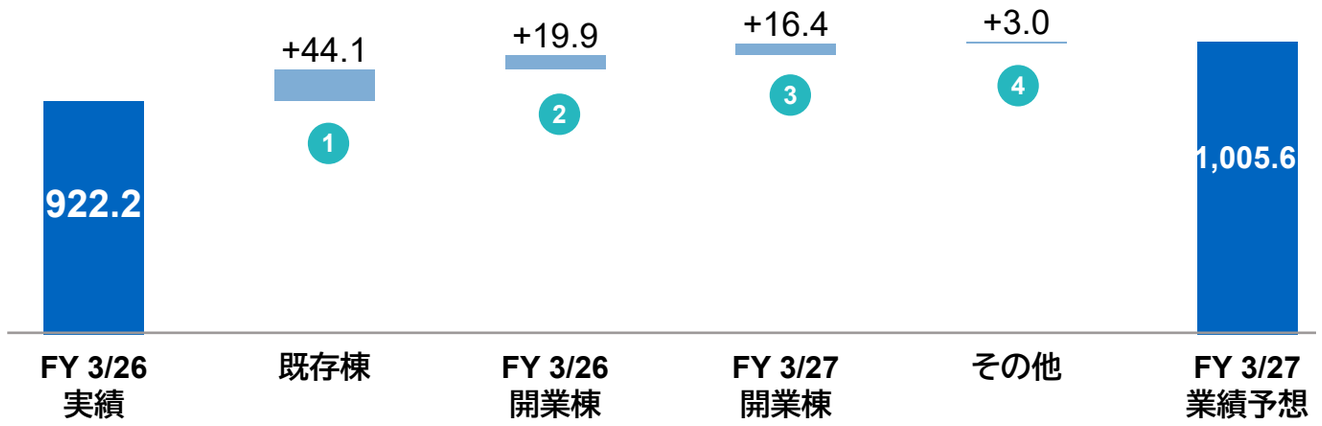
連結業績予想 売上高および営業利益

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

売上高

前期から 83.4億円／9.0%の増収

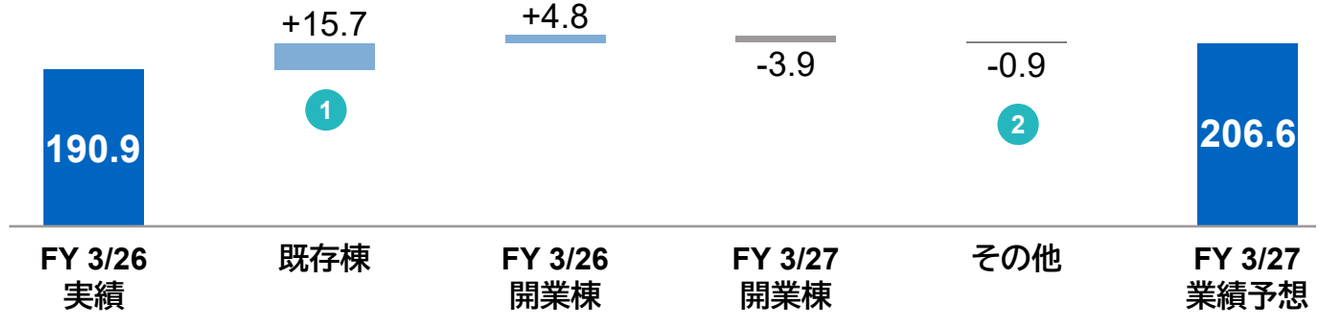
（億円）



営業利益

前期から 15.6億円／8.2%の増益

（億円）



1 RevPAR上昇に伴う増収 +44.1
15,615円 前期比+807円 (+5.5%)

2 FY3/26開業棟 4棟（636室）

10月	ドーミーイン敦賀	199室
10月	ドーミーインEXPRESS雲南	94室
11月	御宿 野乃熊本	191室
3月	御宿 野乃福井	152室

3 FY3/27開業棟 6棟（1,039室）

6月	ドーミーイン四日市	197室
9月	ドーミーイン千歳	198室
9月	ドーミーイン小松	171室
3月	（仮称）ドーミーイン梅田東	123室
3月	ドーミーイン那覇＜県庁前＞	216室
3月	ドーミーインEXPRESS陸前高田	134室

4 大規模リニューアル工事増加 -1.5
韓国 他 +4.5

1 RevPAR上昇に伴う増益 +37.9
コストインフレーション 他 -22.2
（食材費・リネン・清掃費等）

2 大規模リニューアル工事増加 -3.3
開業準備費用減少 +3.7
本部費用 他 -1.3

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

ドーミーイン事業

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

ドーミーイン初進出となる沖縄県を含む6棟が開業

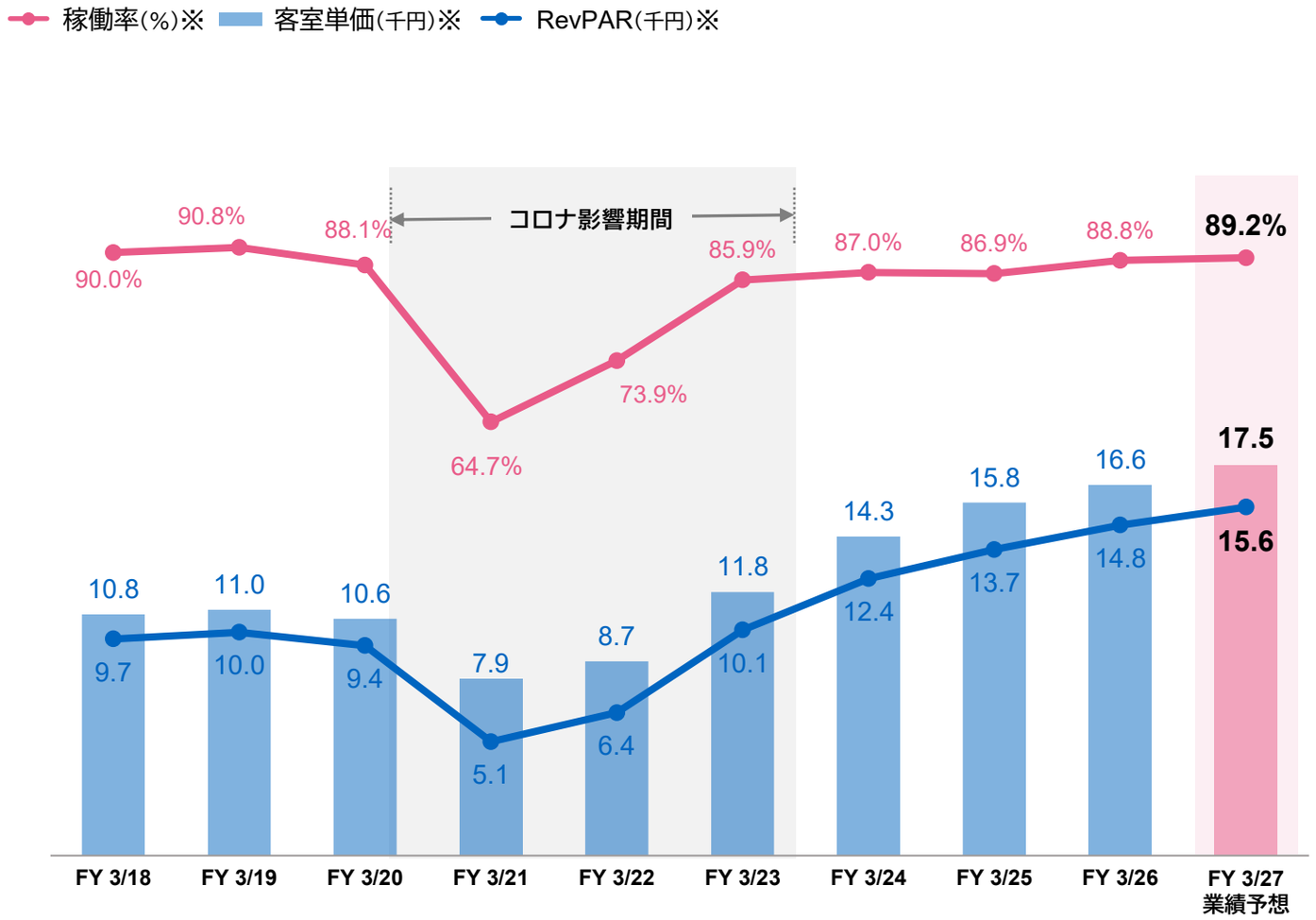
進出済　41都道府県

■ 進出済
□ 未進出



© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

連結業績予想 KPI推移



	FY 3/26	FY 3/27	前期比
稼働率（%）	88.8	89.2	*+0.4pt*
客室単価（千円）	16.6	17.5	*+5.0%*
RevPAR（千円）	14.8	15.6	*+5.5%*

※ 同一条件下で比較するために 2025年4月以降に開業したホテルを除外

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

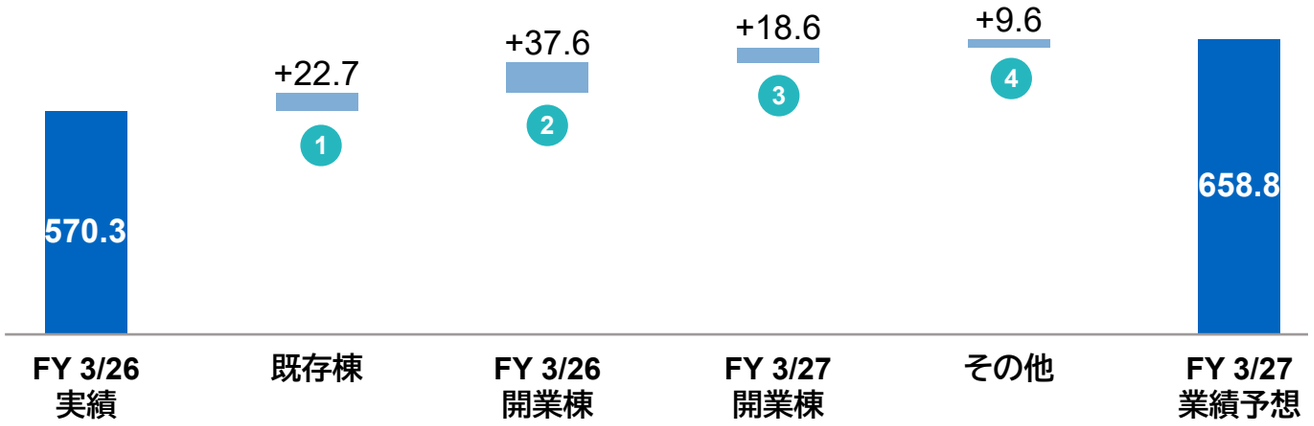
連結業績予想 売上高および営業利益

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

売上高

前期から 88.5億円／15.5%の増収

（億円）



1 RevPAR上昇に伴う増収 **+22.7**
42,021円 前期比**+2,314円 (+5.8%)**

2 **FY3/26開業棟 1棟(239室)**
3月 ラビスタ熱海テラス 239室

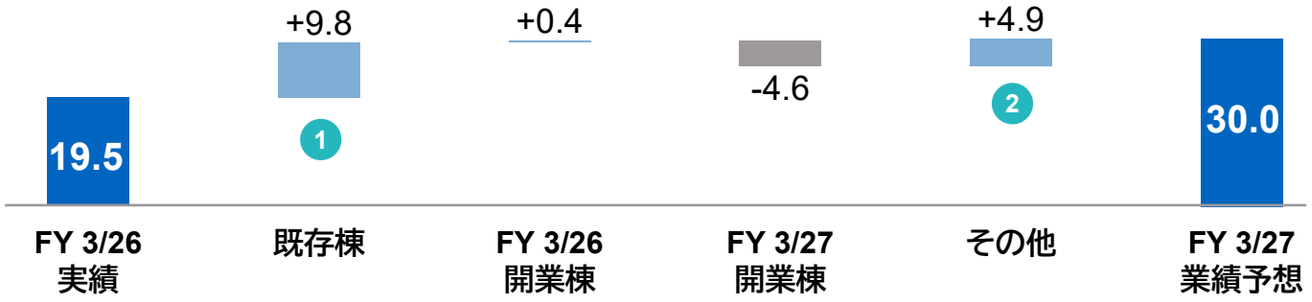
3 **FY3/27開業棟 2棟(157室)**
7月 京都 御室 花伝抄 67室
10月 ラビスタ南阿蘇 90室

4 大規模リニューアル工事減少 他 **+9.6**

営業利益

前期から 10.5億円／53.9%の増益

（億円）



1 RevPAR上昇に伴う増益 **+24.5**
コストインフレーション 他 **-14.7**
（リネン・清掃費・水道光熱費等）

2 大規模リニューアル工事減少 **+3.8**
開業準備費用減少 **+5.0**
本部費用 他 **-3.9**

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

リゾート事業

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

新たな花伝抄シリーズと熊本県に共立リゾートが初進出

熊本

10月オープン




ラビスタ南阿蘇 リブランド
90室

京都

7月オープン





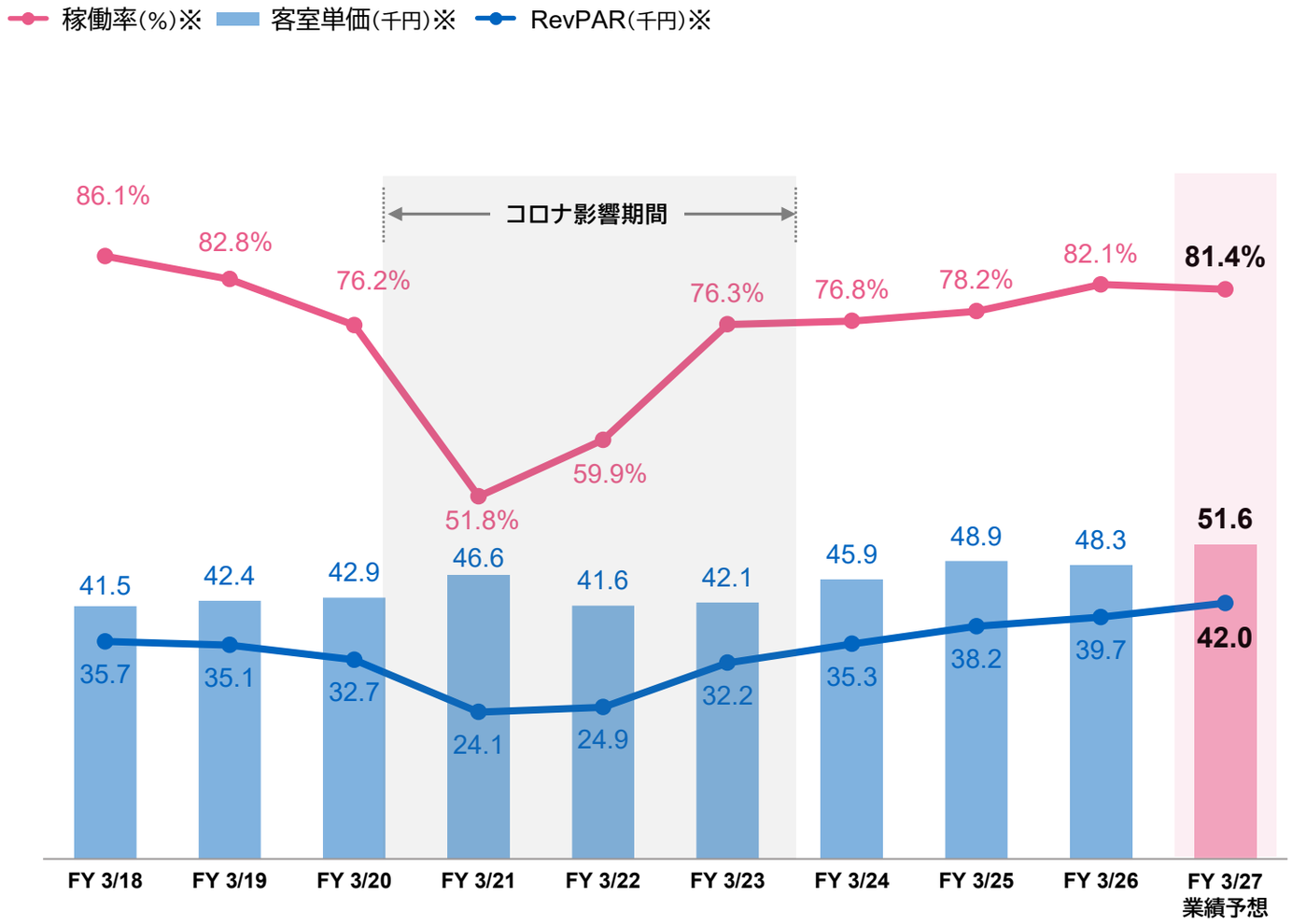
京都 御室 花伝抄
67室

進出済　22都道府県

- 進出済
- 未進出

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

連結業績予想 KPI推移



※ 同一条件下で比較するために 2025年4月以降に開業したホテルを除外

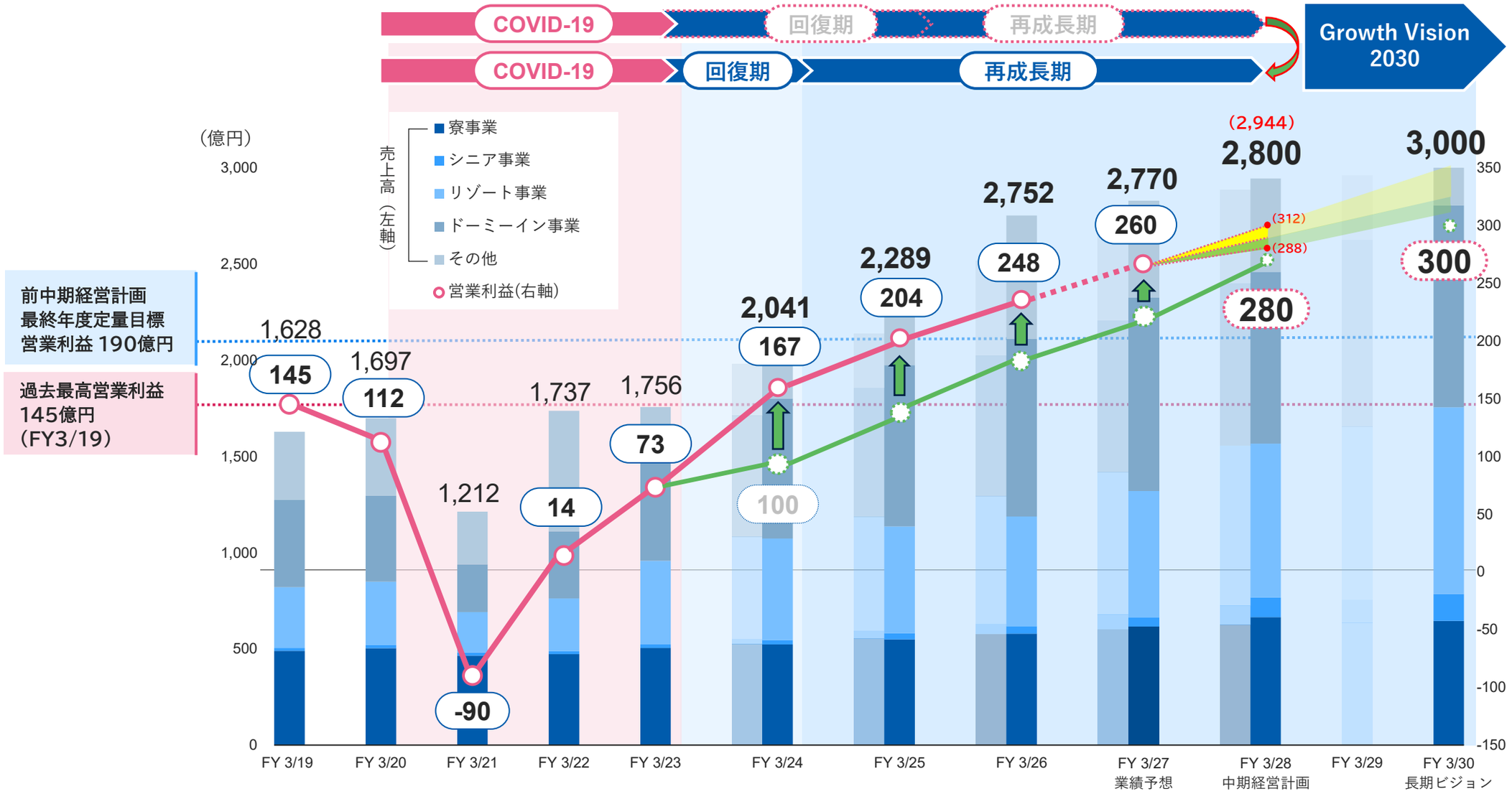
	FY 3/26	FY 3/27	前期比
稼働率（%）	82.1	81.4	***-0.7pt***
客室単価（千円）	48.3	51.6	***+6.7%***
RevPAR（千円）	39.7	42.0	***+5.8%***

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

定量目標

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

寮事業およびホテル事業を中心に着実な成長を遂げ、5年間の売上高平均成長率10%、営業利益平均成長率30%を目標とする



© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

寮事業およびホテル事業の開業見込み

よい朝のために。
KYORITSU HOTELS & DORMITORIES

	実績				意思決定済・事業化予定	
	FY 3/24	FY 3/25	FY 3/26	FY 3/27	FY 3/28	FY 3/29 & FY 3/30
寮・ビル	+12棟* +1,037室*	+8棟* +907室*	+13棟* +1,405室*	+16棟* +2,585室*	+13棟* +1,281室*	+8棟* +1,225室*
	期末棟数 519棟	期末棟数 526棟	期末棟数 536棟	期末棟数 544棟	期末棟数 547棟	期末棟数 556棟
	期末定員室数 44,057室	期末定員室数 44,908室	期末定員室数 46,147室	期末定員室数 48,062室	期末定員室数 48,739室	期末定員室数 50,014室
	リース比率 86.9%	リース比率 87.1%	リース比率 87.1%	リース比率 87.0%	リース比率 86.7%	リース比率 86.5%
	[L]弘前、[L]仙台小松島 [L]仙台鉄砲町、[L]山形本町 [L]あすと長町、[L]大塚 [L]葛西グローバルハウス [L]中野坂上、[L]相模大野 [L]大和南、[L]京都西院 [L]神戸山手	[L]大森北、[L]堺海岸通り [L]西葛西北口 、[L]西葛西南口 [L]千種南、[L]大阪京橋、 [L]グローバルハウス仁川、 [L]KU ROKKO HOUSE	[L]札幌西11丁目、[L]札幌西18丁目、 [L]高松、[L]仙台川内、[L]西大路五条、 [L]壬生三条、[L]坂戸駅前、 [L]名駅亀島アネックス、[L]徳島、 岡山南方、[L]浦安3、[L]相模大野2、 [L]東戸塚GR	[L]八王子大塚、[L]東海大Hills、[L]市谷加賀、 Ritsumeikan Uji Dormitory、[L]山科東野、 [L]国分寺コミュニティハウス、[L]高松西宝町、 [L]長崎新大工町、[L]長崎平和公園、 [L]創成イースト、[L]吉祥寺国際学生会館、 [L]牛込神楽坂、[L]アーバンテラス日吉高田、 [L]両国、衣笠等持院、[L]天満橋	北海道 – 東北 1棟 関東・甲信越 6棟 東海・北陸 1棟 近畿 4棟 中国・四国 1棟 九州・沖縄 –	北海道 1棟 東北 – 関東・甲信越 2棟 東海・北陸 – 近畿 4棟 中国・四国 1棟 九州・沖縄 –
ゲーミーイン	+4棟* +750室*	+1棟* +78室*	+4棟* +636室*	+6棟* +1,039室*	+6棟* +1,109室*	+15棟* +3,088室*
	期末棟数 95棟	期末棟数 96棟	期末棟数 100棟	期末棟数 106棟	期末棟数 112棟	期末棟数 127棟
	期末定員室数 17,107室	期末定員室数 17,180室	期末定員室数 17,814室	期末定員室数 18,858室	期末定員室数 19,967室	期末定員室数 23,055室
	リース比率 97.5%	リース比率 98.5%	リース比率 97.6%	リース比率 93.9%	リース比率 91.5%	リース比率 85.8%
	[L]EXPRESS豊橋 野乃浅草別邸 [L]野乃別府 [L]青森	[L]global cabin横浜中華街	敦賀 EXPRESS雲南 [L]野乃福井 [L]野乃熊本	四日市 [L]千歳 小松 那覇＜県庁前＞ EXPRESS陸前高田 [L](仮称)梅田東	Standard – – Premium 1棟 222室 御宿 野乃 4棟 708室 EXPRESS 1棟 179室 リブランド – –	Standard 6棟 1,158室 Premium 2棟 523室 御宿 野乃 5棟 1,018室 EXPRESS 2棟 389室 リブランド – –
リゾート	+1棟* +75室*		+1棟* +239室*	+2棟* +157室*	+2棟* +132室*	+5棟* +339室*
	期末棟数 42棟	期末棟数 42棟	期末棟数 43棟	期末棟数 45棟	期末棟数 46棟	期末棟数 51棟
	期末定員室数 4,260室	期末定員室数 4,260室	期末定員室数 4,476室	期末定員室数 4,624室	期末定員室数 4,476室	期末定員室数 4,840室
	リース比率 73.8%	リース比率 73.8%	リース比率 75.1%	リース比率 72.8%	リース比率 69.9%	リース比率 66.8%
	[L]ラビスタ横須賀観音崎テラス		[L]ラビスタ熱海テラス	京都 御室 花伝抄 ラビスタ南阿蘇	旅館タイプ 1棟 70室 ラビスタ 1棟 62室 リゾートタイプ – – リブランド – –	旅館タイプ 1棟 93室 ラビスタ 1棟 81室 リゾートタイプ 2棟 100室 リブランド 1棟 65室
全社リース比率	88.7%	89.2%	89.0%	87.9%	87.0%	85.0%

＊ 開発案件の棟数・室数の増加数を示している（期末稼働棟数・室数の前期末からの増加数を表しているものではない）　（注）[L]はリース案件、下線を引いている物件は不動産流動化可能の案件

© Kyoritsu Maintenance Co., Ltd. All rights reserved.

重要な注意事項

本注意事項において、「プレゼンテーション（presentation）」とは、本プレゼンテーションにおいて株式会社 共立メンテナンス（以下、「共立」）によって説明または配布された本書類、口頭のプレゼンテーション、質疑応答および書面または口頭の資料を意味します。本プレゼンテーション（それに関する口頭の説明および質疑応答を含みます）は、いかなる法域においても、いかなる有価証券の購入、取得、申し込み、交換、売却その他の処分の提案、案内もしくは勧誘またはいかなる投票もしくは承認の勧誘のいずれの一部を構成、表明または形成するものではありません。
共立が直接的に、または間接的に投資している会社は別々の会社になります。本プレゼンテーションにおいて、「共立」という用語は、共立およびその子会社全般を参照するものとして便宜上使われていることがあり得ます。同様に、「当社（we、usおよびour）」という用語は、子会社全般またはそこで勤務する者を参照していることもあり得ます。これらの用語は、特定の会社を明らかにすることが有益な目的を与えない場合に用いられることもあり得ます。

将来に関する見通し情報
本プレゼンテーションおよび本プレゼンテーションに関して配布された資料には、共立の見積もり、予測、目標および計画を含む当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念または見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする（targets）」、「計画する（plans）」、「信じる（believes）」、「望む（hopes）」、「継続する（continues）」、「期待する（expects）」、「目指す（aims）」、「意図する（intends）」、「だろう（will）」、「かもしれない（may）」、「すべきであろう（should）」、「であろう（would）」、「することができた（could）」、「予想される（anticipations）」、「見込む（estimates）」、「予想する（projects）」などの用語または同様の用語もしくはその否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。この書類における将来見通し情報は、現在当社が入手可能な情報に鑑みて行った当社の現在の前提および理念に基づくものです。かかる将来見通し情報は、当社または当社の役員による、将来の業績に関する保証を表すものではなく、既知および未知のリスクとその不確実性、その他の要素を伴います。リスクと不確実性には、日本および世界中の一般的な経済条件を含む当社の事業を取り巻く経済状況、競合品の出現・開発、規制当局による判断とその時期、自然災害などが含まれますが、これらに限りません。これらにより、当社の実際の業績、経営結果、財務内容は、将来見通し情報において、明示または暗示された将来の業績、経営結果、財務内容とは、大きく異なる可能性があります。当社または当社の役員は、この将来見通し情報において示された予想が結果的に正しいということを何ら保証するものではなく、実際の業績または経営結果は予想と大きく異なることがあり得ます。本プレゼンテーションの受領者は、将来見通し情報に過度に依存するべきではありません。共立は本プレゼンテーションに含まれる、または当社が提示するいかなる将来見通し情報について、これを更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また本プレゼンテーションにおける共立の経営結果は当社の将来の経営結果を示すものではなく、またその予測、予想または見積もりではありません。

よい朝のために。

KYORITSU

HOTELS & DORMITORIES